

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ふたば		公表日		令和 7年 3月 28日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		4	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		4		・法令を厳守した配置数を確保しております。 ・学校へのお迎え時、下校時間が重なり職員が足りなくなりやすい事がありますが、連携体制を強化し安全を優先した対応を行っています。	人員配置は問題ないが、送迎場所が増えた事で職員の公休日に配置できる職員が増えると良い。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		4		お子様に分かりやすい物の配置、行事や活動内容など視覚的に見通しが立てられるよう工夫しています。	玄関前に3段階があり、完全なバリアフリーは課題となっています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		4		・毎日清掃、消毒を行い心地よく過ごせる環境を整えています。子ども達の状態に合わせ静養室と事務所も利用できるようにしています。	引き続き、心地よく過ごせる環境整備に努めます。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		4		子ども達のクールダウンの他に、静かな場所で宿題がやりたい等の希望も聞くなどし、場所を使い分けています。	職員の人員配置などの関係で希望通りの対応が難しい時もありますが、なるべく対応できるよう配慮していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		4		毎日のミーティングや月次の職員会議などで目標に対する振り返りを実施しています。	非常勤の職員も参加できる環境を整えていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4		保護者向け評価アンケートを実施し、保護者様の意向を職員全員で把握し、業務改善につなげています。	引き続き機会を設け、より一層満足度につなげられるよう努めてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		4		日次、月次で職員が意見を述べる機会を設けており心理的安全性の確保に努め、意見を受け止め業務改善につなげています。	非常勤の職員も参加できる環境を整えていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3	1	現在はお子様、保護者様と社内の二者評価をとっております。外部による第三者評価は実施しておりません。	外部による第三者評価は、今後必要に応じて検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		4		新入社員向けの研修をはじめ、月2回の社内研修を行っております。	来年度も引き続き取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		4		お子様の状態やガイドラインに基づきねらいを踏まえて職員間で意見を出し合い作成し公表しています。	引き続き、心地よく過ごせる環境整備に努めます。適切な計画作成に努めてまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		4		お子様の支援計画期間ごとにアセスメントを取りケース会議を行い支援計画書を作成しております。	引き続き適切な計画書作成に努めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		4		職員間で『子どもの最善の利益』を考えながら意見を出し合い、児発管の考え方に偏らないよう作成しております。	引き続き『子どもの最善の利益』を考慮し作成していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		4		作成した計画書は職員間で共有し、計画に沿った支援が行われるようにしています。	引き続き計画書に沿った支援が行えるよう共通理解を深めています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4		日々のインフォーマルなアセスメントに加え専門家によるwiscなどのフォーマルアセスメントも用いて支援の検討を行っております。	引き続きアセスメントの質を向上させ、より良い支援に繋がるよう努めてまいります。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		4		各支援内容からお子様の支援に必要な項目を選択し、具体的な内容を設定しています。	各加算など、利用できるサービスを保護者様に周知しそれに従事できる職員を増やせるよう教育を行ってまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		4		それぞれ意見を出し合いながらチームで行っております。	

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		楽しさの先にできた！を実感できるよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		集団活動は必ず取り入れています。お子様一人ひとりの特性を考慮し作成した計画に基づき支援を行っております。	引き続きこどもの状況に応じた支援ができるよう努めてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		朝のミーティング時に必ず確認しております。	非常勤職員にも周知していきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		記録を入力しながら情報を共有しています。また、翌日のミーティングでも振り返りを行い、共有しています。	非常勤職員からも気づいた点など共有してもらいます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		職員間での話し合いの中で記録をつけ、それを踏まえてPDCAを確認しています。	時間が足りないと感じる事もある為、改善点を見つけながら努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		個別支援計画の更新時に見直しを行っております。	引き続き『その時に必要な支援』が提供できるよう努めてまいります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		日常生活の充実と自立支援の為の活動、多様な遊びや体験、こどもが主体的に参画できる活動を組み合わせた活動を提供しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4		選択肢を複数用意するなど、自己決定できるよう工夫しております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		支援に支障が出ないよう配慮しながら参加できる機会を設けております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		地域の学童や学校、主治医と情報交換共有をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		学校との連携は強化しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		アセスメントを行う際、今までの支援記録などを確認させていただいております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1	現在対象となる利用者がいない。対象者がいる場合、必ず情報を提供する。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要に応じて連絡をとり、情報を共有させていただいております。	研修会などが開催される際は参加させていただきたいと思っております。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	公園に行った時など、交流を図っております。	計画し活動する機会を設けられるよう検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1	HPなどで確認させていただいております。	積極的に参加できるよう、努めてまいります。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時の申し送りや日々の記録以外にも、都度保護者様と子どもの発達の状況を共有しています。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	研修で学んだ事などで、実際家族の対応として実践出来そうな事はお伝えさせていただいております。	保護者の方が参加できるような研修の機会があれば計画していきたいと思っております。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時に説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		ニーズを踏まえて『こどもの最善の利益』を第一に考えた計画作成に努めております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		計画に基づいた支援の説明を行い同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		半年に一度のモニタリングに加え、保護者様のお悩みに応じて随時相談できるような機会を設けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	2	ふたばにお迎えに来ていただいた際、保護者様同士でお話できるような環境は整えております。	今後、保護者会など開催できるよう日程の調整など検討してまいります。また、兄弟児支援についてはニーズも踏まえ必要に応じて検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		契約時に体制について説明させていただいております。実際に苦情があった場合は迅速に解決に向けて動いております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		HPやSNSなど、積極的に活用しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵付き書庫での管理、シュレッダー処理など十分に留意しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		視覚的な情報提供やLINE、電話、書面など合理的配慮を推進しております。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	近隣の方との交流は図っております。	今後、行事に招待できるよう検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		各種対応、対策については契約時に説明させていただいております。訓練も法令に基づき定期的に行っております。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		BCPを策定しそれに基づいた訓練を行っております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時に必ず確認し、周知しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		契約時に必ず確認し周知しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		安全計画を作成し、必要な研修、訓練を実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		安全計画に基づいた取り組みを行っております。実施内容については連絡ツールなどで周知を図っております。	ご家族への周知が不十分な点がある為、周知の仕方については見直しを行います。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットは必ず職員間で共有し再発防止に努めております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		虐待防止に関わる責任者を選任し、虐待防止委員の開催、研修を行っております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		身体拘束に関して検討を行っております。必要に応じて計画書への記載も行っております。		